

## 施策に関連する主な事業の説明資料

## 【公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり】

事業名	施設再編推進事業
事業概要	新庁舎整備の他、各施設の大規模改修の計画や統廃合を進める。多機能化や、複合化による相乗効果を高め、各施設の再編や町有地の有効活用を検討する。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎は、基本設計に着手し、整備に向けて事業が推進している。</li> <li>・未耐震集会所は、耐震設計及び耐震改修（下町・入川匂老人憩いの家）を行い、事業を推進させている。また、百合が丘老人憩いの家は増改築を実施し、その他にも、複合施設、未利用地などの活用に対し、事業を推進させるため、検討委員会やアンケートなどを実施した。</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に対する合意形成や完成への形、調整などが多大にある。推進していく上で、条例改正や他法令に基づいた申請許可などもあり、多種多様に課題が山積みな状況である。</li> <li>・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画短期期間の終了（令和9年度）に伴う計画の見直し。</li> <li>・上記計画への新庁舎と学校の位置づけ、財政計画を見据えた新たな延床面積削減目標の設定。</li> </ul>
その他	－

事業名	生涯学習センター管理運営事業
事業概要	生涯学習センター「ラディアン」の維持管理及び運営を行う。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モールにソファを設置するなど、利用者の居場所づくりを行うとともに、大規模改修に係る基本設計を実施した。</li> <li>・コロナ禍を経て、町民活動が再開されたこと、各種イベントの実施などにより、ラディアンの利用が回復しつつある。</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館より20年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行うとともに、閉館期間の事前周知について時期や方法についても検討していく。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業は、施設の総合管理委託や施設修繕、その他運営に必要な経費を計上している。</li> </ul>

事業名	図書館運営事業
事業概要	図書館の適切な運営・サービスを行う。
R 5 実績	・貸出サービスの他、子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。 また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努め、新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。
R 5 課題	・利用状況が減少傾向にあるため、既存の利用者だけでなく新規利用者獲得のため、幅広い年齢層に対し、図書館利用を促進する取り組みを進める必要がある。 ・図書館の利用方法、イベントの見直しなど、集客につながる工夫が必要である。
その他	・図書館内のビデオや CD の視聴コーナーを撤去し、既存のソファを活用して利用者が雑誌等を読める場所を確保した。

事業名	消防庁舎維持管理経費
事業概要	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る
R 5 実績	・通常業務以外に、消防庁舎大規模改修工事設計業務委託（令和 4 年度～令和 5 年度継続）完了。建築確認申請を関係機関に提出。
R 5 課題	・令和 6 年度からの消防庁舎大規模改修工事施工により、工事行程等で環境面や消防業務を維持しながら最小限の影響になるよう検討課題である。
その他	・その他、施設維持に必要とされる経費を計上している。

事業名	保健センター管理運営経費
事業概要	保健センターの適切な施設運営と管理を実施する。
R 5 実績	・施設の適切な維持管理を実施した。
R 5 課題	・施設の老朽化（特に空調設備）の進行具合と、新庁舎の建設の兼ね合い。
その他	・保健センター機能の移転も含めた、ラディアンのリニューアルや、ホテル跡地の活用に関する基本設計を実施した。（事業費は施設再編推進事業で計上）

事業名	デジタル推進事業
事業概要	コミュニケーションツール等を導入することで住民が利便性良く行政サービスを利用できる環境を整備する。また、民間のデータセンターやパッケージソフトを共同で利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手続きのオンライン化については、計画通り実施できている。</li> <li>・ コンビニエンスストアで住民票等の証明書の交付を受けられるデジタルサービスを提供し利用の促進を図った。</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は内部事務の効率化についても並行して進めるとともに、デジタル化に向けた人材の育成が求められる。</li> <li>・ 手続きのオンライン化については、町民のニーズを的確に捉え、オンラインでできる手続きの更なる拡大を図る必要がある。手続きのオンライン化も証明書のコンビニ交付も、更なる周知に取り組み、利用の拡大を図る必要がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-kanagawa やびったりサービスを利用して、がん検診の予約や火災における罹災証明書の申請手続き等、令和 5 年度は 27 の手続きをオンライン化した（通算で 59 の手続きがオンライン化対応済み）。</li> </ul>

## 【子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり】

事業名	子育て支援対策事業
事業概要	子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定するとともに、進捗状況の把握などを行っていく。また、子育て支援に関する事業を行う。
R5実績	・年末にこども大綱が示され、これにより次期計画をこども計画とすることが努力義務とされたが、今年度においては、令和5年度から2か年で策定を予定していた従来の子ども・子育て支援事業計画についての策定作業を進めた。
R5課題	・令和6年度予算として、従来計画策定分に加えてこども計画とするために要す経費を盛り込み、あわせて子ども・子育て会議へ諮りながら、計画策定まで適正に執行する。
その他	・令和6年度までの継続事業として、アンケートの調査や分析等、子ども・子育て支援事業計画の策定作業に着手した。 ・紙おむつの処分に係る費用の補助として、2歳未満の子どもがいる世帯に町指定家庭用ごみ袋を配付した。

事業名	子育て世代包括支援事業
事業概要	親と子の健康保持・増進を図るため、健康診査や育児相談など、育児不安の解消や親子関係の向上を図る。 また、子育て世代包括支援センターにおいて、子育て期間を並走し、妊娠、出産から育児期を通して切れ目のない支援を行う。
R5実績	・事業や訪問の再開により、きめ細やかな対応ができた。
R5課題	・育児の孤立化は解消できていないため、子育てのきめ細やかな支援は必要と感じる。
その他	・3歳児健康診査時に、スクリーニング機器を使用した屈折検査を実施した。 ・産婦健康診査への費用助成及び産後ケアとして産婦のショートステイや居宅訪問を実施した。 ・ヤングケアラーやひとり親の家庭等で、家事または育児等の日常生活に支障をきたし、支援が必要と認められる世帯にヘルパーの派遣を行った。

事業名	ICT教育推進事業
事業概要	新学習指導要領に対応した、教育用コンピューター等のICT環境を整備する。
R5実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末や校内のネットワーク環境を整備した。</li> <li>・成果指標からも小中ともに授業においてICTを積極的に活用してきていることが伺える。引き続きICTを活用した授業実践を積み重ねていき、情報活用能力の育成に向けた系統的な指導のあり方について研究していく。</li> </ul>
R5課題	・端末機器の借上げの5年が近づいている中、近年端末機器の更新費用が上昇している。補助金を活用するが、補助基準額以上になった場合、財政負担が大きくなる。
その他	－

事業名	小中一貫教育推進事業
事業概要	教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。
R5実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離型小中一貫教育校「にのみや学園」がスタートし、9年間を見通したカリキュラム研究、小中学生の交流、小学生同士の交流など、誰一人取り残されない学級づくりを推進した。</li> <li>・小中一貫教育設置研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。</li> </ul>
R5課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年内容等を研究する。
その他	－

事業名	コミュニティ・スクール運営促進事業
事業概要	地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進し、児童生徒の豊かな成長を支援する。
R5実績	・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。
R5課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議会ごとに課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティ・スクールの認知を高めていく必要がある。</li> <li>・コミュニティ・スクールとは、学校と地域・保護者等が力を合わせ、互いに信頼し合い、子供たちの成長を支え、地域とともにある学校づくり、地域コミュニティづくりを進められることが期待できるものだが、きめ細かな情報発信がされているとは言い難い。</li> </ul>
その他	・学校の働き方改革を考慮した休日の部活動における指導体制の改革に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証した。

事業名	地域学校協働活動推進事業
事業概要	コミュニティ・スクールの枠組みを活用し、放課後子ども教室などの地域学校協働活動の推進を図る。
R 5 実績	・放課後の居場所として、各校 12 回開催した。また、今年度は初めて、夏休みに 3 小学校合同で事業を開催した。
R 5 課題	・登録数が伸びている一方で、スペースの確保や暑い時期を避けたことにより実施時期に偏りがでてきているなど、放課後の居場所のあり方に検討が必要である。
その他	－

## 【気候変動対策による持続可能なまちづくり】

事業名	環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等）
事業概要	地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運の向上を図る。
R 5 実績	・5月の「エコフェスタにのみや」並びに11月の「ふるさとまつり」において、環境PRブースを設置し、普及啓発活動を実施した他、8月に県の支援事業（子ども環境教室）を活用し、「体験型未来づくり教室」を実施した。
R 5 課題	・環境PRブースは、来場者の関心を惹くための工夫、行動の実践に繋げるための工夫を検討する必要がある。 ・「体験型未来づくり教室」は、労力をかけず効率的に募集の募るための工夫を検討する必要がある。
その他	・気候変動問題を一人ひとりが「自分事」として捉えるきっかけ作りとして、町民と共に気候非常事態宣言を発出した。

事業名	ごみ減量化・再利用事業
事業概要	環境基本計画の基本目標である「循環型社会の実現」に向け、町民や事業者等の3R（発生抑制・再利用・再生利用）行動の促進につながるよう、積極的な啓発活動を行う。
R 5 実績	・一般廃棄物処理基本計画に基づく「家庭系ごみ排出抑制」の一環として、町内小学生を対象に町指定ごみ袋に掲載する標語の募集や、10月の「食品ロス削減月間」に合わせた町広報紙への特集記事掲載を実施した他、減量化等計画書をもとに多量排出事業者4社への指導・ヒアリングを実施した。
R 5 課題	・一般廃棄物処理基本計画に基づく3つの計画目標のうち、「減量化の目標」と「最終処分量の削減目標」は、現時点において達成したものの、「資源化の目標」については未達であるため、引き続き、ごみ排出量の削減等を推進する必要がある。 ・計画目標のうち、「資源化の目標」が未達なため、引き続き、ごみ排出量の削減等を推進する必要がある。
その他	—

事業名	道路維持管理経費
事業概要	側溝清掃や街路樹等の維持管理委託、橋りょう長寿命化対策、通学路安全施設整備、道路修繕工事等を実施する。
R 5 実績	・道路等のインフラについては、町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などにより修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。
R 5 課題	・道路構造物について、老朽化が進行している状況である。今後、安全面を重視した維持管理手法の確立が求められる。
その他	・1級町道18号線、2級町道22号線、1級町道14号線、2級町道12号線、町道二宮58号線の舗装補修工事を実施した。

事業名	管路建設改良費
事業概要	公共下水道の普及により、公衆衛生の向上と河川等の水質保全に資する。
R 5 実績	・汚水枝線工事を6箇所実施し、本管工事延長L=901m(φ200) 取付管及び公共汚水柵54箇所設置した。 ・下水道整備面積は計画どおり進捗しているほか、水洗化率も、着実に上昇し、安定した事業運営につながっている。
R 5 課題	・令和5年時点で、事業計画区域の94.3%について整備が完了している。未普及対策としては令和7年度概成を目標に整備を進めているが、未利用地や私道については土地所有者の意向等により整備が行えない状態となっており、取り残される区域が生じてしまう。
その他	—

事業名	防災施設維持管理経費
事業概要	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。
R 5 実績	・年間を通じて大きな機器等の故障もなく、適切に町民への情報伝達を実施できた。
R 5 課題	・設備の耐用年数超過や老朽化が見られる。また、消防庁舎の大規模改修や今後の新庁舎移転を見据え、機器更新や移転に多額の費用がかかることから、防災行政無線を含めた情報伝達のあり方を検討する必要がある。
その他	—

事業名	救急救助活動経費
事業概要	救急隊員の知識技術の向上を目的とした研修及び訓練の実施と各種災害に対する救助活動マニュアルを策定による活動の平準化により消防力の向上を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急分野については、救急活動事後検証作業（月 1 回）と連動した訓練や教養研修及び救急救命士の再教育（病院実習 4 名）の質向上を目的としたスキル確認を実施した。</li> <li>・救助分野については、災害区分に応じた活動マニュアルの整備に向けての課題及び必要なマニュアルの抽出を実施した。</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急分野については、出動件数が増加する中での研修は、指導救命士や経験豊富な職員への事務負担が懸念され指導者養成の検討が必要である。</li> <li>・救助部門においては、多様化する災害へ対応するために近隣市町消防との連携活動は必要であるものの、互いの消防力把握及び訓練場所の選定などに時間を要す場合がある。</li> </ul>
その他	—

## 【誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり】

事業名	人権・ジェンダー平等社会推進事業
事業概要	人権問題に対する町民の認識と理解を深めるため、啓発活動を実施する。 また、にのみやジェンダー平等プランを基に、計画の効率的・効果的な推進を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月～10月神奈川人権センター主催人権学校 職員参加者数6名</li> <li>・ 8月24日横浜国際人権センター主催『語る・かたる・人権トーク』 職員参加者数19名</li> <li>・ 2月23日町主催人権講演会「「LGBTQ の『T』のはなし～多様なトランスジェンダー～」 職員参加者数3名</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町主催講演会について、参加者が集まるようなテーマ・講師選定に苦慮している。</li> <li>また、町民向けのため土日開催となることから職員の参加が難しい。人権問題は普遍的な課題であり、継続して啓発を図ることが必要である。</li> </ul>
その他	—

事業名	福祉相談支援システムによる連携
事業概要	制度やサービスなどの業務分担や専門分野にとらわれず、幅広い相談内容を管理するシステムを導入し、専門的な情報を漏れなく細かく管理・連携するための包括的な相談支援体制を構築する。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム導入をしたことにより、各種相談に対し世帯状況や資格情報等が見える化されスムーズな対応が可能となっている。また、関係各課との連携や情報共有など一元管理・事務負担の軽減に役立っている。</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムの運用等で共通認識を持つ必要や検討の必要な事案が無いか適宜調整を行う必要がある。</li> </ul>
その他	—

事業名	地域包括支援センター運営事業
事業概要	保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等が連携し、高齢者が住みなれた地域で効果的な介護予防への取り組みや必要な支援が受けられるように支援を行うため、地域包括ケアシステムの推進の中核を担う地域包括支援センターを運営する。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の相談窓口としてや地域包括ケアシステム推進のため、町民や関係機関から寄せられる課題や問題に寄り添い、様々な面から総合的に取り組んでいる。</li> </ul>
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化等に伴い、要支援認定者や相談件数は年々増加している。</li> <li>・ 人員を確保しながら、地域包括ケアシステムの推進を図る。</li> </ul>
その他	—

事業名	介護予防普及啓発事業
事業概要	介護予防や日常生活支援、普及啓発のために必要な事務経費等を管理する。
R 5 実績	・介護予防のための適切な事務執行を行っている。
R 5 課題	・提案がマンネリ化しない様、情報提供に努める。
その他	・基本的には例年通りとなるが、地域の通いの場等にて介護予防サポーターによる健康体操や講座を実施した。

事業名	健康づくり事業
事業概要	町民の健康づくり・未病改善のため、運動教室や健康相談、保健指導等を実施する。
R 5 実績	・未病センター事業を継続し、自身の健康状態の把握も含めた健康講座を開催し、健康づくりへの関心を高め、生活習慣に取り入れるよう働きかけた。 ・イベント等でも出張未病センターを開催し、利用者数がコロナ前に回復した。
R 5 課題	・健康づくりのため、未病センターを拠点に、自身の健康に関心をもっていただくよう働きかけを行っていく必要がある。 ・未病センターを拠点に自身の健康に関心を持っていただくよう、健診の受診とともに働きかけが必要である。
その他	・健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画の一体的策定に着手し、令和5年度はアンケート調査及び分析を実施した。 ・町の未病センターは保健センター内に設置しており、血圧や血管年齢、脳年齢等の項目について測定することができる。

事業名	防災訓練・自主防災組織育成事業
事業概要	防災訓練を実施し、住民の防災意識の向上を図る。
R 5 実績	・町全体の訓練として町立体育館を会場とする総合防災訓練を実施し、ペット同行避難、給水訓練、ボランティアセンター開設等の訓練を実施した。 ・地区ごとの訓練として、地区の要請に応じた15回の自主防災訓練を実施した。 ・コロナ禍を経て、各地域活動が戻りつつある中、防災についても地区ごとの訓練が多数実施された。地区によっては年に複数回自主防災訓練が実施されるなど、防災意識も向上しており、地域防災力が強化された。
R 5 課題	・総合防災訓練は熱中症対策を含め、夏季以外の開催を検討する必要があることと、防災への関心が低い方や若者世代が参加しやすい訓練となるよう工夫する必要がある。 ・自主防災訓練は開催地区が減ったため、例年行っている年度初めの地区長連絡協議会での勧奨のほか、好事例の紹介など開催地区を増やす工夫をする必要がある。 ・各地区の自主防災訓練参加者は、熱心に実働訓練や講義受講に取り組んでいるが、若い世代の参加が少ないなど、いかに幅広い世代へ意識啓発したり、訓練参加を促したりできるかが課題となっている。
その他	・令和6年度は、総合防災訓練を11月に2部に分けて開催している。

## 【活力があふれる、選ばれるまちづくり】

事業名	特産物普及奨励事業（農業再生事業）
事業概要	落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業法人による生産量が増加傾向にある。個々の農業者には、継続的な栽培ができるように資材等の補助を実施した。</li> <li>・町内オリーブの生産については、継続的な栽培ができるように資材等の補助を実施した結果、目標を達成した。</li> </ul>
R 5 課題	・講習会による栽培技術指導により、生産量の拡大を図り、「湘南オリーブオイル」の地域団体商標を用いてのブランドイメージの向上に努める。
その他	

事業名	観光振興対策経費
事業概要	町の観光振興を目的とし、観光客の来訪促進を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会内に一般社団法人設立準備委員会を設け、一般社団法人設立に向けての方針や定款案などの取りまとめを行い、令和7年度の法人化に向けた取り組みを推進した。</li> <li>・観光協会や各種団体とともに令和元年ぶりのふるさとまつり通常開催や第20回吾妻山菜の花ウォッチングを開催するなど取り組みを行い、二宮町観光まちづくり戦略を推進した。</li> </ul>
R 5 課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
その他	・令和5年3月に「二宮町観光まちづくり戦略」を策定し、町観光振興の目指すべき目標や取り組みを位置付けている。

事業名	商工業振興対策経費
事業概要	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰の影響に対する補助事業（プレミアム商品券）の実施や商工会、金融機関と連携し、創業支援を行い、事業者への支援を図った。</li> <li>・二宮ブランド認定商品の普及啓発を目的として各種販売会を実施した。</li> </ul>
R 5 課題	・事業者の高齢化が進んでおり、事業継承に関する検討が必要になるが、繊細な内容のため、情報発信に留まっている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「湘南オリーブオイル」の周知性をより高めるため、二宮町商工会と連携して「湘南オリーブオイル」の地域団体商標取得に向けた取り組みを推進した。</li> <li>・「湘南オリーブオイル」は令和6年4月4日付で地域団体商標を取得した。</li> </ul>

事業名	農業振興事業
事業概要	農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、「地域計画」を一色地区で策定した。</li> <li>・物価高騰に伴う燃油高騰対策として、施設園芸農業者に対し燃油購入費用の一部を支援した。</li> </ul>
R 5 課題	・全国的に農業の担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める
その他	－

事業名	遊休・荒廃農地対策事業
事業概要	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める。
R 5 実績	・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。
R 5 課題	・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。
その他	－

事業名	「にのみやLife」移住・定住・交流PR事業
事業概要	子育て家庭を中心とした幅広い世代の移住を促進するため、町民等と連携しながら、二宮町ならではの暮らし方「にのみやLife」を町内外に発信するとともに、実際に町外の方が町を訪れた際の、相談体制の充実を図り、実際の移住に繋げていく。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン移住相談会を毎月開催しているほか、令和5年度は初めて町単独の移住相談会を東京会場で開催した。</li> <li>・定住・交流事業として、移住者を集めた交流会『二宮町いいところ発見会』を開催した。</li> </ul>
R 5 課題	・移住相談会等に参加した方の、その後の移住情報を画一的に把握する方法がないので研究する必要がある。(現状は次年度当初のアンケートや転入手続き時アンケートで補完している)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「二宮町いいところ発見会」参加者：1回目14名(8組)、2回目14名(7組)</li> <li>・「オンライン移住相談会」参加者：全9回(東京開催の2回は除く)計15組</li> <li>・YouTubeの町公式チャンネルにて、町の魅力紹介動画を随時公開している。</li> </ul>

## 【新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり】

事業名	行政改革推進事業
事業概要	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。
R 5 実績	・新たな行政改革大綱を基に 10 の個別項目を設定し、令和 9 年度までの具体的な取り組み事項と目標を定めた第 6 次二宮町行政改革推進計画を策定した。
R 5 課題	・今後、推進計画に定めた目標を達成するため、各課と連携しながら業務の効率化等の検討を進める必要がある。
その他	－

事業名	産学連携
事業概要	企業や大学等の専門性や枠組みに囚われない柔軟な発想を生かした効果的・効率的なまちづくりを進める。
R 5 実績	・神奈川大学において、町の課題をテーマにした町職員による出前授業を実施したほか、公務員を目指す学生等を対象に行政の取り組みを紹介した。 ・協定を締結している郵便局と協議を実施し、相互で連携可能な取り組みを検討した。
R 5 課題	・事業連携が業務の効率化等につながるよう、連携事業の整理とともに連携の在り方を検討する必要がある。
その他	・神奈川大学での授業テーマ：「令和 4 年度…地方自治体の現状と少子高齢化・人口減少社会がもたらす影響と公務員としての課題」「令和 5 年度…持続可能な公共交通の存続のための取り組みとは」

事業名	施設再編推進事業
事業概要	新庁舎整備の他、各施設の大規模改修の計画や統廃合を進める。多機能化や、複合化による相乗効果を高め、各施設の再編や町有地の有効活用を検討する。
R 5 実績	・新庁舎は、基本設計に着手し、整備に向けて事業が推進している。未耐震集会所は、耐震改修及び耐震設計を行い、事業を推進させている。その他、複合施設、未利用地などの活用に対し、事業を推進させるため、検討委員会やアンケートなどを実施した。 ・新庁舎建設や地域集会施設の耐震性確保などが順調に進んでいる。
R 5 課題	・事業に対する合意形成や完成への形、調整などが多大にある。推進していく上で、条例改正や他法令に基づいた申請許可などもあり、多種多様に課題が山積みな状況である。
その他	－

事業名	町民活動推進事業
事業概要	町民活動推進委員会を組織し町民活動推進補助金による支援を行うことで町民活動の推進を図る。
R 5 実績	・町民活動推進補助金として、スタート支援を1団体、ステップアップ支援を3団体に交付した。
R 5 課題	・補助金申請団体が減少傾向にある。町民活動を推進していくには、補助金交付終了後も状況確認やフォローアップの体制づくりが必要である。 ・地区役員のなり手不足への対応、新たな町民活動団体の発掘などが課題である。
その他	－

事業名	職員育成推進事業
事業概要	人材育成方針に基づき効果的な行政運営を行うため、適切な人事評価及び研修計画に基づいた研修を実施し、職員育成を推進する。
R 5 実績	・市町村研修センターの研修は通常どおり実施された。町独自研修も予定通り実施することができた。併せて、国県等への職員派遣も実施した。
R 5 課題	・引き続き研修への参加を促進するとともに、国県等への職員派遣等も継続的に行っていく。
その他	－

事業名	デジタル推進事業
事業概要	コミュニケーションツール等を導入することで住民が利便性良く行政サービスを利用できる環境を整備する。また、民間のデータセンターやパッケージソフトを共同で利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。
R 5 実績	・手続のオンライン化については、計画通り実施できている。 ・コンビニエンスストアで住民票等の証明書の交付を受けられるデジタルサービスを提供し利用の促進を図った。
R 5 課題	・今後は内部事務の効率化についても並行して進めるとともに、デジタル化に向けた人材の育成が求められる。 ・手続きのオンライン化については、町民のニーズを的確に捉え、オンラインでできる手続きの更なる拡大を図る必要がある。手続きのオンライン化も証明書のコンビニ交付も、更なる周知に取り組み、利用の拡大を図る必要がある。
その他	・令和6年10月より町公式LINEを運用開始しており、情報発信やオンライン申請等の活用を進めている。